

ディプロマポリシー

看護学専攻

1. 規定期間在学し、専攻の理念と目的に添った研究指導と教育を受け、かつ、専攻が行う修士論文審査と最終試験に合格する。
2. 保健・医療・福祉の知識を備え、看護学における研究能力と高度な専門性を有する。
3. 看護学の分野で質の高い研究に基づく社会貢献能力、研究を通じた応用研究活動力、新たな価値や社会的視座に立った問題解決能力を発揮できる。
4. 保健・医療・福祉にかかわる多職種の連携や協働に貢献し、地域生活者の健康や幸福に寄与できる。

精神保健学専攻

1. 精神保健学に関連する保健・医療・福祉領域における学識と基礎的研究情報の蒐集、分析能力、研究能力を身につけ、単独で又は共同で研究に従事できる。
2. 精神保健学の多様で複雑な問題に関して、専門職として多面的に検討し種々の手段を活用して問題解決の方策の必要性を認識し、明確な研究的視点を持ち、現場において実践的研究態度で臨むことができる。
3. 精神保健学に関連する保健・医療・福祉領域における研究手法を獲得し、倫理的基準を遵守し、科学的にデータの蒐集、整理、分析、管理ができる。
4. 研究対象者や関係者と適切なコミュニケーションがとれ、実践的専門職あるいは研究者として自立して国内外で自らの研究成果を発信できる。

健康支援科学専攻

1. 各専門分野における深い専門知識と高度な技術に基づいた臨床実践能力を発揮できる。
2. 各専門分野における臨床疑問を科学的視点で分析、解決できる臨床実践研究能力を発揮できる。
3. 健康支援の仕事に関わる多職種の専門職連携の構築をリードできる。
4. 口腔機能支援、身体機能支援の側面から地域社会の健康寿命の延伸に貢献できる。